学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	**工業**	科目	**機械実習**	単位数	**2単位**	年次	**2年次**
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

安全に作業ができるよう服装等の身だしなみに気を配ろう。
工作機械の運転中や溶接作業中は目を離さず安全作業に集中しよう。
作業開始時の準備、作業終了時の片付け・清掃の手順を身に付けよう。
工作機械・作業工具等の器具を大切に扱う。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
機械加工に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
ガス溶接作業ではホースの接続や圧力の調整などを迅速にできるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
機械加工に関する課題を発見し、機械加工に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
機械加工に関する技術の向上を目指して学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢と態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種工作機械・装置の構造・使用手順を理解し、作業前点検・動作確認・終了点検まで一連の操作が確実に行える技術を身に付ける。	各種工作機械・装置で製作可能なのかどうか、どのような準備と作業手順が必要かを考え、実践することができるようにする。 また、各種の測定具を正しく扱い、図面寸法通りにできたかどうか検証する。	各種工作機械・装置を自在に操り、図面の寸法通りに加工できたかどうか測定具を使用して考察し、改善点や今後の課題を見出す力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	工作機械作業実習	・普通旋盤作業 ・基本操作 ・センタの取り付けと取り外し ・各種切削加工 ・工作物の取り付けと取り外し ・刃物の取り付けと取り外し ・段付き丸棒の切削加工 ・工作物の測定と記録 ・フライス盤作業 ・刃物の取り付けと取り外し ・工作物の取り付けと取り外し ・加工後の考察	a:各種工作機械の各部の名称・操作方法・操作手順を理解し、適切に扱える技術が身に付いている。 b:各種工作機械の各部の名称・操作方法・操作手順を理解し、思考・判断や表現する力が身に付いている。 c:各種工作機械の各部の名称・操作方法・操作手順を測定にて確認し、誤りなく作業する力が身に付いている。	**実技**	**実技** **口頭試問** **作品**	**実技** **口頭試問** **作品**
前期 後期	情報処理実習	・Ｗｏｒｄ 文書デザイン検定課題の習得 ・Ｅｘｃｅｌ 表計算検定課題の習得 ・ＰａｗｅｒＰｏｉｎｔ プレゼンテーションの学習	a:各種のアプリケーションの操作を習得し、自在に文書作成・表計算・プレゼンする能力が身に付いている。 b:各種のアプリケーションの目的を理解し、目的に応じた変換・デザインに表す能力が身に付いている。 c:各種のアプリケーションを利用し、自分の思考や方向性を表現できる力が身に付いている。	**実技**	**実技** **口頭試問** **作品**	**実技** **口頭試問** **作品**
後期	溶接作業実習	・溶接装置・器具の取り扱いと点検 ・基本作業 ・ビード付けと突き合わせ ・隅肉・溶断作業	a:溶接装置・器具の特徴・取り扱いを理解し、安全かつ確実に作業する能力を身に付けている。 b:溶接装置・器具の特徴・取り扱いを習得し、各作業ごと適切に思考・判断し、関連知識・技術を活用している。 c:溶接装置・器具の特徴・取り扱いに関し、興味・関心を持ち、知識と技術の習得に取り組んでいる。	**実技**	**実技** **口頭試問** **作品**	**実技** **口頭試問** **作品**

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度